

## すばる科学諮問委員会 報告 (2018/9月から現在まで)

前回の天文学会年会以降、9/28, 10/25, 11/30, 12/28, 1/25, 3/1の6回、すばる科学諮問委員会を開催した。

(任期：2018年9月1日～2020年8月31日)

秋山正幸	東北大学
生駒大洋	東京大学
川端弘治	広島大学
小谷隆行	自然科学研究機構ABC
栗田光樹夫	京都大学
児玉忠恭	東北大学
田中雅臣	東北大学
土居 守	東京大学
濤崎智佳	上越教育大学
長尾 透	愛媛大学
西山正吾	宮城教育大学
松下恭子	東京理科大学
松田有一	国立天文台ALMA
宮崎 聡	国立天文台ATC
安田直樹	東京大学Kavli-IPMU
山村一誠	JAXA/ISAS

Observers : 吉田道利 (所長)  
大橋永芳 (副所長)  
能丸淳一 (副所長)  
神戸栄治 (運用部門長)  
柏川伸成 (すばる室長)  
青木和光 (すばる三鷹)  
David Sanders (UH)

## ■すばる近況

- ・補正予算が認められドームシャッターの大規模改修が7月下旬-9月に行われる予定。
- ・ハリケーンによるドーム浸水で被害を受けたFOCASは運用を停止して修理中で、4月から再開の予定。
- ・赤外副鏡の再蒸着スケジュールが1月から11月に変更になった。11月は赤外観測ができない。

## ■IRD-SSP審査

- ・Sato, B. et al. の175晩の申請のうち、70晩(19A-20B)が条件付きで採択された。S19B採択分は、2019年4月に測定精度のレビューを再度行って判断する。残りの105夜については2020年7月にTAC/SACで審査を行う。

## ■HSC-SSPの追加夜申請

- ・悪天候分の補填として30夜の追加が申請された。すばるUMでcommunityに意見も聞いた上で現在協議中。

## ■装置デコミッション

COMICSは2020年、FOCASは2022年にそれぞれデコミッションされる予定。

## ■すばる20周年記念研究会

すでにtennet, gopiraでも案内されたが、2019/11/17-22にハワイ島のワイコロアにて開催されることになった。すばるUM(17-18)も一緒に開催される。参加登録(アブストラクト提出)は4/1-6/15。

## ■すばるとTMT-Jとの一体運用、ほか

- ・効率化、経費削減を目的として一体運用案を策定中。
- ・すばる-TMTサイエンスブックを取りまとめる予定。
- ・2019年秋季年会にすばる+TMTの企画セッションを提案した。

## ■国際共同運用

- ・すばる国際共同運用のためパートナー候補国（EA0、中国、カナダ、インド）と協議中。
- ・S19Bについては、EA0との協議がまとまらなかったため、中国からの貢献額に応じた夜数を観測所時間から供出し二国間で始めることになる。
- ・すばるUMでの議論および、コミュニティーアンケートの実施で、コミュニティーの意見を広く聞いた。アンケートには様々な世代から61件の回答があった。これらの意見を参考に、SACで早急に国際運用の枠組みを改定中。

## ■ TAC改選

- ・現TACのメンバーの一部は2019年6月で任期終了となるので、新メンバー選定の参考にするため5-6月にgopira推薦投票を行う予定。